

令和6年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	樽 川 魅 栞
論 文 タ イ ト ル	開発途上国におけるコールドチェーンの導入と運用に関する考察 と提言
要 旨	<p>毎年、開発途上国において、ポストハーベस्टロスが原因で多くの人が亡くなっている。このロスはコールドチェーンによって改善することが可能だが、開発途上国のコールドチェーン導入はあまり進展していない。本論文は、開発途上国におけるポストハーベस्टロスの現状とコールドチェーンの発展の経緯を考察し、開発途上国のコールドチェーン導入・運用に関する根本的な原因が「貧弱なインフラ」と「設置運用のコストの高さ」であると文献調査によって明らかにした。さらに、2つの課題の解決策の有効性を確認した後、開発途上国のコールドチェーンを支援する流れが進んでいるにも関わらず、ポストハーベस्टロスが減っていない要因の考察も行った。そして、消費者の需要に影響を受けるコールドチェーンの特性を踏まえ、「企業や投資家だけではなく、消費者を含めた全ステークホルダーの意識に訴えかけることが必要である」と考え、開発途上国と先進国双方がとるべき行動を提言した。</p>